

田和山の森から

第 256 号
令和 8 年 2 月 6 日
里山を育てる会

1 月の作業から

遊歩道周辺の枯損木の伐採

12 月の作業に続き、遊歩道の周りの枯損木(枯れそうな木も含めて)の整理を行いました。どの樹木も樹高が 15 メートルを超えるものがあり、他の樹木と干渉していますので、倒すための準備を入念に行いながら作業を進め 1 月から 5 本程度伐採や片付け作業を行いました。



までに衣装ケースに 3 箱に移しました。大きく育つと大育と願うばかりです。写真



上が幼虫の採捕作業、右が保管中の衣装ケースで 3 箱で 200 頭の幼虫が入っているはずですが。



林床の整理とカブトムシ

前号でも紹介しましたが、キンランの株数の増加を目指し、西側斜面の林床の整理を進めています。具体的には林床の刈り払いと、落ち葉の掻き取りになります。昨年の 11 月から始め、1 月も続けています。

この作業で発生した落ち葉を集積し腐葉土を作っていますが、集積した場所では、大量のカブトムシの幼虫が育っています。このカブトムシを大きく育て活用しようということで、これ

2 月の予定

主たる作業

- ・林床整理・枯損木、雪害木の伐採・カブトムシの養殖
- ・シイタケ群木の玉切り、運搬

1 月 9 日には、乃木公民館和室において新年会を行いました。16 名が参加し、今年一年の安全作業と、健康を祈念しながら交流を行いました。

田和山の樹木 第 68 回 ヤマモモ

ヤマモモは本州(千葉県～福井県)、四国、九州、沖縄に分布している暖地性の樹木です。山陰地方でも海岸沿いの山地に点在して自生しています。田和山には、遺跡の登山口の左側にかなりの樹齢のヤマモモが 2 本あります。このヤマモモは、分断された田和山の尾根から移植されたものだと記憶していますので、活動を始める前から田和山には存在していたこととなります。田和山の森には、3 本だけヤマモモの木がありますが、全て果樹として育成された品種で、活動初期に植栽されたものです。

ヤマモモは雌雄異株のため雄株がないと実が付きませんが、公園などに緑化樹として雌雄関係なく植えられていますので、近くに雄株がなくても実はつきます。

実は 7 月初め頃に熟し、甘味、酸味に加え、松脂のような雑味がありますので最近では果樹として育成されたものだけが食べられています。

写真は、田和山遺跡入り口に移植されているヤマモモです。



今後の活動予定 令和 8 年 2 月 6 日(金)、2 月 13 日(金)、2 月 21 日(土)、2 月 27 日(金)、3 月 6 日(金)、3 月 13 日(金)、3 月 21 日(土)、3 月 27 日(金)です。時間は 13:30 から、ただし土曜日は 9:00 からとなります。

田和山の森から

第 257 号
令和 8 年 3 月 6 日
里山を育てる会

2 月の作業から 積雪と被害木の整理

2 月 7 日から 8 日にかけて積雪はありましたが、この雪で田和山の樹木にも多少被害があり、数本の折損木が出ました。雪で折れたのはクロキが大半でした。これらの樹木は伐倒して片付けました。この作業に併せ、東側斜面で秋に伐



採したシイタケ原木の玉切りを行いました。(写真は、市立病院に向かう遊歩道

寒い折損木の片付け)

シイタケ(春子)の発生

2 月に入ってから前半は寒波が訪れましたが後半は比較的暖かくなって、シイタケの榎場では春子の発生が始まりました。写真の様に原木全体に大量に発生をしています。今年のメリハ

リのある気候がシイタケにはプラスになったのではないかと思います。

このレベルで毎年続けられたら、重い原木の運搬も苦にならずです。

今年植菌予定の原木は前述したように、昨年 5 本のクヌギを伐採し、これを 3 月のおは、全玉切りを行い、伏せ込み場の西側斜面に運び出さず大仕事があります。

3 月の予定

主たる作業

- ・林床整理・枯損木、雪害木の伐採・カブトムシの養殖
- ・シイタケ原木(クヌギ)の玉切り、運搬、植菌
- ・タケノコの生産の準備



森を守ろう！山陰ネットワーク会議 20 周年記念事業

「森林とともに生きる暮らし」

4 月 19 日(日) 10:00 ~ 15:00
松江テルサ

田和山の樹木 第 67 回 チュウゴクザサ

57 回で田和山にあるササは、メダケとネザサと紹介しましたが、田和山の入り口付近に明らかに姿が違うササがありましたので、追加したいと思います。

そのササが今回紹介するチュウゴクザサです。チュウゴクザサは、葉に白い隈取りがあることが名前の由来になっているクマザサの変種です。チュウゴクザサにはクマザサのように整った隈取りはありません。田和山のものも写真左のように明瞭な隈はできていません。



島根県内の山地の林床に沢山見られますこのササは、稈は高さ 1 ~ 2m でチマキザサとも似ていますが、鞘に長い毛があることで区別されています。

いずれにしても、ササ類は変種が多数ありなかなか見分けることが難しいですが、どの地域に生えているかを前提に見ていく必要があります



今後の活動予定 3 月 6 日(金)、3 月 13 日(金)、3 月 21 日(土)、3 月 27 日(金)、4 月 3 日(金)、4 月 10 日(金)、4 月 18 日(土)、4 月 24 日(金)です。時間は 13:30 から、ただし土曜日は 9:00 からとなります。

田和山の森から

第 258 号
令和 8 年 4 月 3 日
里山を育てる会

3 月の作業から

シイタケの植菌

東側斜面のクヌギ植栽地で昨年秋に伐採した



シイタケ原木の玉切りを行い、その原木を西側の伏せ込み場まで林内作業車で運搬して、3月21日と27日両日にかけて植菌を行いました。

運搬した原木は、70本あまりで4往復となりました。植菌は2,000駒を超え過去最高になりました。この原木からシイタケが発生する来年



秋以降が楽しみです。(写真上が玉切りが終わり運搬待ちの原木、下が植菌作業中)

4月の予定

ご案内

令和 8 年度定期総会

日時 4月18日(土) 18:00 ~

場所 乃木公民館和室

議題

令和7年度事業報告及び会計決算
令和8年度事業計画及び収支予算

総会終了後恒例の懇親会を行います。

出欠を14日(火)まで

竹下 090-7772-9414

荒川 090-7776-8073

主たる作業

- ・「キンランを楽しむ会」の準備
- ・タケノコの堀取り

森を守ろう！山陰ネットワーク会議 20周年記念事業

「森林とともに生きる暮らし」

4月19日(日) 10:00 ~ 15:00

松江テルサ



田和山の樹木 第71回 ヤマザクラ



これまでに多くの高木を紹介してきましたが、田和山を構成する高木の代表として紹介するのが、3月下旬から4月上旬にかけて咲き誇るのヤマザクラです。ヤマザクラは、本州(宮城県~新潟県)、四国、九州に分布するバラ科の落葉樹で、日本に自生するサクラの代表です。明治以前、和歌に詠まれた「サクラ」は、大部分はヤマザクラといわれていますが、現在主役の座をソメイヨシノに譲っています。花は赤味を帯びた新芽の芽吹きと同時に開花するのが特徴です。花の色は、白色から淡紅色までバラエティに富んでいます。ヤマザクラは同じ地域でも個体毎に変異が多く、開花時期、花つき、葉と花の開く時期、花の色の濃淡と新芽の色、樹の形など様々な違いが見られるのが特徴です。

樹皮は紫褐色で横縞が目立ち、若い木では光沢がありますが成木では写真右のように暗い感じになります。材木としては、程良い硬さがあるため加工しやすく、色合いの美しい仕上がりになるため、家具、細工物、建築材など多用途に使われます。浮世絵や経文の版木、和菓子の型などにも利用されています。(右の写真が、田和山で最も太い木です)(お断り、65回以降、回数が乱れており訂正します)



今後の活動予定 4月3日(金)、4月10日(金)、4月18日(土)、4月24日(金)、5月1日(金)、5月8日(金)、5月16日(土)、5月22日(金)、5月29日(金)です。時間は13:30から、ただし土曜日は9:00からとなります。

令和 8 年度定期総会

4 月 18 日(土)に令和 8 年度の総会を乃木公民館において開催し、事業報告及び決算報告と事業計画及び収支予算について承認されました。総会終了後には、恒例の懇親会を開催し、英気を養いました。

今年度の目標は、とにもかくにも会員の獲得におき活動を進めていきたいと考えています。



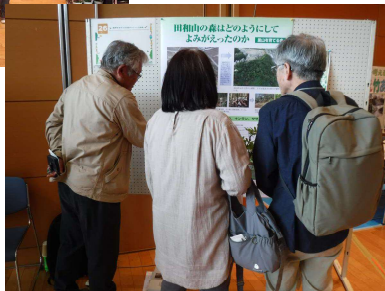
の調査を行っていますが、調査用の竹串を 320 本ほど製作しました。この竹串は、モウソウチク林の更新伐で出た竹材を活用しています。

森を守ろう！山陰ネットワーク会議 20 周年記念事業

4 月 19 日(日)に松江テルサにおいて、ネットワーク会議に参加する島根、鳥取の活動団体が参集し、それぞれが日常の活動について展示などで紹



介しました。本会も「田和山はどのようにして蘇ったのか」ということについてポスター展示を行いました。



筍の堀取り

今年もモウソウチク林で沢山の筍が発生していますので、作業日毎に堀り取りを行い、林内で湯がいて「あく抜き」を行いそれぞれが持ち帰っています。



5 月の予定

- ・「キンランを楽しむ会」の開催
5 月 6 日(水) 10:00 ~ 正午
集合後に、例年通りにキンランの生態について説明を行い、その後散策をしてもらいます。
- ・「ササユリ鑑賞会」の開催
5 月 31 日(日) 10:00 ~ 正午
集合後に説明し、散策してもらいます
- ・タケノコの堀取り

4 月の作業から

キンラン生育調査の準備

5 月 6 日(水)に行う「キンランを楽しむ会」の準備の一環として、毎年キンランの生育株数

田和山の樹木 第 72 回 ヤマザクラ(其の 2)



ヤマザクラについて前号で紹介しましたが、桜は春の花の王様であり、田和山でも沢山のヤマザクラが咲くようになりました。

花の色は、左写真のように白色から淡紅色までバラエティに富んでおり極端に言えば、一本一本違うといっても良いでしょう。ヤマザクラの花色の多様性は、(1)遺伝的・個体間の自然変異、(2)他種との交雑、(3)葉の色との組み合わせによる視覚効果、(4)生育環境による微妙な差異等によって生じるとされています。ヤマザクラの柔らかく変化に富んだ花の色は、美しい景観の源となっています

田和山では育てる会が、活動初期にヤマザクラの植栽を行いました。その全てが、配付会や購入した実生苗でしたので、周辺の山地よりもバラエティーに富んだ花の色になっていると思われます。

今後の活動予定 5 月 1 日(金)、5 月 8 日(金)、5 月 16 日(土)、5 月 22 日(金)、5 月 29 日(金)、6 月 5 日(金)、6 月 12 日(金)、6 月 20 日(土)、6 月 26 日(金)です。時間は 13:30 から、ただし土曜日はは 9:00 からとなります。